

	<p>第93号 発行日 令和3年5月9日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 山口 智子 事務局 久保田安紀 (HP <a href="http://hizasi.web.fc2.com">http://hizasi.web.fc2.com</a>)</p>
---	---

## 「令和2年度



## 第1回登録要約筆記者研修会」

2月14日（日）に令和2年度第1回の登録要約筆記者研修会が開催されました。コロナ禍で時間短縮となり、10時から13時まで行われました。

まず、要約筆記派遣コーディネーターから要約筆記派遣事業について ①大分県内の意思疎通支援事業実施状況 ②派遣に関わる留意点について ③報告書の書き方 の説明がありました。報告書については記入漏れに注意し、速やかに提出してほしいとのことでした。

次に、手書き・パソコン合同学習会。

昨年の重大ニュースを基に、何月に起きたか、平仮名に置き換えられた人名などを漢字にする問題が出されました。国際情勢、政治経済、情報社会、文化スポーツ、環境科学などの勉強も必要。いつも目にする漢字も書けず、勉強不足を実感しました。

最後は手書き・パソコンに分かれての研修。

私は手書きで参加。2つのグループに分かれてチームワークの役割の確認。

①前ロールを引く練習 ②補筆・訂正の入れ方 ③引手の役割確認 ④手書き事例検討が実施されましたが、①～④全部難しかったです。

要約筆記の目的である「その場で役に立つ通訳」ができるよう、今後も参加して技術の向上に努めていきたいと思えます。

いつも丁寧にご指導してくださる先生方に感謝いたします。 （川俣 美智子）



「できること」「できるだけ」「できる時に」 お互いの立場を思いやって

## 紙上交流会

コロナ禍で以前のような交流会もできない昨今です。

そこで、紙上の交流会を提案。皆さんにご寄稿いただきました。(企画部)

### 要約筆記との出会い

大分県聴覚障害者センター 岩田 知恵

昨年3月に新型コロナウイルス感染拡大してから、これまでの生活が変わった。

マスク、消毒、手洗い等留意しなければならないこと。何より協会職員であり、利用者さんと接することが多く、コロナウイルスに感染されない、しないように、いつにも増して体調管理に十分気をつけるようになった。

ただ、在宅勤務や自粛などで家にいる時間が増えた分、体重が増えてしまったことが目下一番の悩みである(笑)。

これはさておき、京都で難聴仲間から講演会への誘いがきっかけで「要約筆記」と初めて出会った。自分にとって衝撃的で、あの時の感動は未だに忘れられないもの。「講演の内容が分かる」。スクリーンから目が離せず読んでいたのを思い出す。手話も同時期に学び始め、要約筆記を通して感じたこと、難聴の仲間との出会いで殻の中にいた自分が変わった(体形は変わらず)。もし、要約筆記や難聴の仲間に出会っていなかったらどうなっていたのだろうと思った。

大分県に戻ったと同時に、要約筆記サークル陽ざしの会には立ち上げ当時からお世話になっている。特に児玉幸代さん、河野キヨさんには本当にかわいがっていただき、くじけそうになる自分を励ましてもらった。ありがとうございました。陽ざしの会サークルの皆さん、今後ともよろしくお願ひします。

### コロナ禍に際して

夢サラダ 森 将太

コロナと共に早一年過ぎましたが、本当に時間が過ぎるのを早く感じています。

まだまだ、以前のように過ごせない時間は続くと思います。自由に人に会えない状況になって、改めて聴こえない自分について考えさせられました。

今は、LINE、メール等で容易に人と繋がれますが、反面どこか人間味は薄いのかなと感じることもあります。実際に人と接することは大事で、聴こえない人は特に、手話、筆談等で相手と繋がるため人と向き合うことで安心できるのかなと思います。

聴こえない人が手話を使える人に会うとしゃべり出す人が多いのは、普段話せてないからかなとも思ったりもします。自分の場合は元々人と接することが好きなのだと思います(\*´ω`\*)。

この一年人と会えることに感謝して、機会があれば出向くようにしました。今後も人と密にならないよう良い距離を保ちつつ明るく過ごしていけたらよいのかなと思います。

そのためにも健康第一で、もうちょっとスマートになりたいと思いながら、美味しいものを食べることに抗えない自分と戦っていきたいと思います(\*´ω`\*)。

